



ドメインのドロップキャッチに注意

運用実績のあるドメインは、新規ドメインよりも多くのアクセス数が見込めることから、有効期限切れや廃止されたドメインを狙って再登録「ドロップキャッチ」されるリスクがあり、その取扱いには注意が必要です。

旧取得者（A社）

新しいホームページを作ったし、もうこのドメインは不要だから、次の保有期限が来たら更新しないで手放そう

<https://example.com>

関係性なし

悪意のある取得者

アクセス数が多いような放置ドメイン発見！ゲットしてフィッシングサイトに作り変えてやる！



<https://example.com>

ドメイン
使用権限

閲覧者



A社と勘違いしてアクセス

フィッシング被害
ウイルス感染等

ドメインの悪用を防ぐために

- ドメイン名を管理するルールや手順を確立しましょう
- ドメイン廃止の前に登録の一定期間又は永久的な継続についてしっかり検討しましょう
- ドメインを廃止する際は、ウェブサイト、メール、SNS等により幅広く周知をしましょう
- ドメインを廃止した際は、廃止したドメインの利用状況について定期的に確認をしましょう

ドメイン名は、組織の顔となる大切なものです。
ドメインの保有期間の更新し忘れや放置によって、第三者に悪用された場合、組織のブランド価値や信用の毀損、利用者に対する被害を招くおそれがあります。

